

川の子ども新聞



利根川博士に聞く

「奥利根」って、どんなところ？

ポトム(ポ) はかせー、見て。雪がふってきたよ。
利根川博士(博) ほほう、初雪というわけかな。

ポ 山のほうは、もっとふってるね。
博 そうじゃな。ポトムのふるさとは、もうすっかり雪にうもれておるの。

ポ ぼくのふるさとって...
博 そう、利根川の源流のことじゃよ。利根川のいちばん上流で、「奥利根」とよばれているところじゃな。

雪にうもれる冬の奥利根

博 奥利根って、どのくらい雪がふるんだろう？
博 そうじゃな、利根川のダムの中でいちばん上流にある「矢木沢ダム」のあたりで、毎年3月以上つもるそうじゃ。



雪景色の矢木沢ダム。12月から4月末までダムへの道は通行止め。でも、ダムの管理は休まず続けられるんだ

それよりずーっと奥、山の頂上のあたりでは10日近くつもるといわれておるの。

ポ ひえーっ！ それじゃ、とても人は入っていけないね。
博 そのとおりじゃが、なにも人が入っていけないのは、雪のふる季節だけとはかぎらんぞ。利根川の源流は、雪がなくても入っていくのはたいへんなんじゃ。



ポ どういうこと？
博 道がないから、川の中を進むしかない。しかし、きりたつたガケもあれば、滝もある、急な流れも深い淵もある...というわけでなかなか人をよせつけない。

妖怪「わう」がすんでる？

博 長ーいあいだ、利根川の源流の奥のほうはどうなっているかということ、ほとんどわからなかつたんじゃ。
ポ ええー。
博 そのむかし、利根川の源流には「わう」という妖怪がすむといわれておつてな、人間を食べべてしまうという話も信じられておつたんじゃよ。



日本刀を持って水源探検！

ポ いつごろ、利根川の源流あたりに人は入つたの？
博 ふむ。むかしから、クマなどの狩りをする人は、そうとう奥まで入つていたと思われるの。

記録にのこるところでは、明治27(1894)年というから今から111年前、利根川の水源地、つまり利根川のは

じまりをめざした探検隊がいたことがわかつておる。このときは、日本刀やピストルをたずさえていったというから、決死の探検だったんじゃな。
ポ それで、水源は見つかったの？



利根川の水源地がある大水上山は、冬のあいだ深い雪にうもれている

博 いや、残念ながら、たどりつくことはできなかったのじゃ。しかし、この探検をきっかけに、「利根川の水源地はどこか」という関心がひろまつていったのじゃよ。

たいせつにしたい奥利根の自然

博 その後、大正15(1926)年と昭和29(1954)年に探検がおこなわれて、水源が発見され、そのようすもしだいにわかつてきた。

さらに昭和50(1975)年からは、群馬県による学術調査がおこなわれて、奥利根のすばらしい自然がだんだん知られるようになってきたんじゃ。



ポ ふーん。妖怪の「わう」の時代とくらべたら、すごい進歩だね。

博 そうじゃな。といっても、まだすべてがあきらかになつたわけではない。それどころか、まだまだわからないことがたくさんあるんじゃ。



昭和29年の利根水源調査隊に参加した人たち(写真提供:前橋市の大島俊彦さん・元調査隊員)

ポ へー、そうなんだ。
博 ひとくちに「奥利根」といっても広いからの。そこには、むかしのままの美しい自然がたっぷり残されているんじゃよ。
ポ いいところなんだ。たいせつにしくちやね。
博 そうじゃな。なんといっても、ポトムのふるさとじゃからの。

おしらせ

群馬県立自然史博物館で特別展「奥利根 その自然をさぐる」開催！

群馬県による「奥利根地域学術調査」の成果を中心とした展示で、水源の自然のようすや水資源のたいせつさなどについて知ることができよ。「調査隊って、どういう人たちで、どんなことをするのか」ということもわかるはずだ。

□期間/2006年3月18日(土)

5月7日(日)

□問い合わせ先/群馬県立自然史博物館

富岡市上黒岩1674-1

電話/0274(60)1200